

県内教育委員会 への 表敬訪問



工代 祐司
教育長



工代 教育長 より メッセージをいただきました。

スクールソーシャルワーカーの皆様におかれては、日頃より本県の教育の推進に多大なお力添えを頂き、感謝しています。

今、子どもを取り巻く状況は、いじめ、虐待等、従来からの課題に加え、ヤングケアラーやコロナ禍の心身の不調等、多様化、複雑化、深刻化する一方です。

そのような状況の中、皆様は、福祉の専門家として、学校だけでは解決が難しい課題に対し、教職員への助言や関係機関との連携・調整等、子どもたちを環境面から支えていただいております。

スクールソーシャルワーカーへの期待はますます大きくなっており、本県においても、平成20年に5人でスタートし、本年度は49名(昨年度比4名増)と増員していますが、全ての児童生徒に支援が行き届くよう、各中学校区に1人は配置したいと考えています。

今後とも、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援相談体制の充実に向けて、専門的見地からご支援、ご助言いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。



今年度役員改正があったこともあり、会長、副会長が手分けをして、夏休み期間中に、香川県及び各市町の教育委員会へ訪問し、教育長や各担当課長とお話をしてきました。

主には、それぞれの県市町でのSSWerの雇用状況や待遇面、またSSWerに期待することや、これから協会と連携し何かできることはないかなど、和やかな雰囲気の中、様々なお話をお伺いすることができました。いまのところ、すべての市町を訪問できたわけではありませんが、第一弾としてはよかったのではないかと、思っています。

なによりとてもうれしかったことは、協会員の皆様が、日々の実践を積み上げ、その結果組織の中で役割を存分に発揮されているということです。お話を伺う中で、私自身も頑張ろうと思えた貴重な時間でした。

(もちろん、訪問はド緊張しましたが...汗)

自分たちの所属先にも一緒に訪問したい、会長、副会長ちょっと話聞いてきて、などという協会員さんがいらっしたら、事務局までご連絡ください。日々の業務の中ではなかなか聞けないことや、実はこう思っている、などということを直接伝えられる機会にしてもらえたら、と思います。詳細は事務局までメールでご相談ください。

(副会長 川添 美智)

協会
活動

パンフレット リニューアル



後援研修

「ソーシャルワーカーデーin香川2022」

日時：令和4年10月30日(日) 13時30分～

場所：香川県社会福祉総合センター7階第一中会議室

主催：ソーシャルワーカーデー in 香川2022実行委員会

開催決定

2022年度

香川スクールソーシャルワーク セミナー

～思春期の子ども虐待事例を用いて、支援のヒントを見つける～

2022年 12月17日(土) 13:00～

講師: 木下 あゆみ 氏

独立行政法人 国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 小児科・育児支援対策室

会場: 丸亀市保健福祉センター(ひまわりセンター)

朝活

12月3日

(土)

9:30～
10:30

研修
案内

研修 報告

2022
7/9
10:00



「ケース会議の開催について」

講師: 藤澤 茜 氏

ケース会議を行っているかどうかの確認とその実施状況を話し合いました。

大阪府立大学 山野則子教授らによる「効果的なスクールソーシャルワーカー配置プログラム」におけるケース会議関連の項目チェックを元に、支援の流れからケース会議の意識共有、支援の作成からのすり合わせといったケース会議に至るまでの事前準備の必要性や方法など参加者が具体的にどのように行っているかを聞きました。文書で起案して供覧している方や、ワーカーとしての知識を生かし、関係機関の動きや意見を予測し、学校側のサポートができるようにしている等の意見もありました。そして、ケース会議の運営や進行では協働と役割分担や、ケース会議のマニュアル、タイムスケジュールを把握した上でのサポートや工夫などを共有しました。各支援をわかりやすく視覚化し、役割の落とし込みやまとめをしやすいようにホワイトボードを活用している事例も出ました。

参加者の皆さんの感想としては、ケース会議の内容を子どもにフィードバックするのか考えたい、ホワイトボードの使用が可能なら取り入れたい、ケース会議の成果を出さなければならないと1人で気負わずコミュニケーションに失敗は無いという気持ちで行っている、みんなの声を大切にしていきたい、これらの研修内容を活用し次のケース会議に生かしたい等の多くの意見が聞かれました。
(丸亀市SSWer 土居 やよい)

2022
9/18
10:00



研修 II 「事例検討」

助言者: 鈴木 庸裕 氏 (日本福祉大学)

日本福祉大学の鈴木庸裕先生が講師として来県してくださいました。今回の事例検討では、土居やよいさんが報告してください、子どものニーズが見えづらい中で、SSWerとして何ができるのかを検討しました。

事例内容の確認をする中で、中学校では当たり前に使われている「団長」という言葉を鈴木先生は知らなかったようで、地域独自で使っているワードだと知り驚きました。地域によって言葉が異なっても、子どもを想う気持ちは同じだと考えることができました。また、多職種で同じ共通言語を使うことが重要なのではなく、相手がこの言葉をつかう意味合いをお互いに知ることこそが、多職種と協働することにつながっていくと学びました。

鈴木先生からは、5W1Hと活用して事実を記入するところで、いつでもどこをどのようにと記載していくことで、ニーズが何なのかと考えることができる。ケースを要約することが、相手に意図を伝える練習にもなると助言くださいました。

今回は、12名も参加者していただき、感染症予防対策を実施しながら事例検討会を行うことができました。参加者のみなさま、ご協力ありがとうございます。
(普通寺市SSWer 清水 美沙)



鈴木 庸裕 氏
著書の紹介



SNAP SHOT ～LIFE Style～

会員のプライベート写真を掲載!

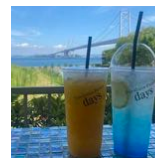
#夏の思い出



(左)「6月に入ってすぐリビングのエアコンが壊れてお盆まで、冷風扇“ここ冷え”とアイスで暑さをしのぎました。仕事に行っている方が幸せなこの夏でした。」

(右)はじめて家の金の成る木に花が咲きました。春から咲き始めて夏までずっと咲いたので、臨時収入とかあるかと思っていましたが今のところまだです～

(さぬき市SSWer 富田 多恵子)



香川県内にも夏を感じられる場所はたくさんあります。アイスやジュースの冷たいものに惹かれていきます。コロナが早く終息し、沖縄で思う存分遊びたいです。

(普通寺市SSWer 清水 美沙)

Thanks you for reading

香川スクールソーシャルワーカー協会

編集広報委員: 清水 美沙、福家 恭子

事務局: 四国学院大学西谷研究室内

香川県普通寺市文京町3-2-1

メールアドレス: kagawa.k.ssw@gmail.com

協会からのお知らせ



(企画運営委員会QRコード)

■企画運営委員より

研修で取り上げてほしい内容等がありましたら、企画運営委員会宛先(右記QRコード)迄ご連絡ください。

■事務局【講師派遣依頼】

講師の依頼があり、協会名で講師依頼を引き受ける場合は、協会宛に講師派遣依頼文を送ってもらうようお願いいたします。

■編集広報より

今年度の活動報告集の原稿を書きいただき、ありがとうございます。みなさまの日々の実践を会員同士で共有できる機会にさせていただけると幸いです。

